ゆすまいる

令和元年
11

1～2P　ちょっと聞いてや～
～みんなに知っちょいてもらいたい～

3P　地域の活動紹介（初瀬区・松原区）

4P　複合福祉施設 YURURI ゆすはらよりお知らせ

5P　輝く梼原人！み～つけたっ！

6P　笑顔つながれ!! 輪ッハッハ
～町内各種団体リレー～

掲示板　秋まつりについて
まごころ弁当ボランティア募集

Number. 31

梼 原 町 社 協 広 報 誌

ちょっと聞いてや～
～みんなに知っちょいてもらいたい～

災害に備える

夏から秋にかけて台風や大雨による自然災害が多発しています。今回は災害について紹介します。今後も社協では地域の防災をみなさんと一緒に考える取り組みを行っていきます。

日頃からの災害への意識づくりや訓練が大事！！

飯母部落　図上訓練の様子

社協では、役場の防災アドバイザーや地域包括支援センターの協力をいただきながら、防災をテーマに小地域での地域福祉座談会を開催しています。座談会での話合いを通して『自分の命は自分で守る』『地域で協力して被害を最小限にし、被災した人を救助する』『避難準備のことや避難所のことを考える』などなど部落（小地域）単位で防災・減災の意識を高め、自分ごととして地域のみんなで対策を考えて実践できることを目的としています。

ふくしの視点で防災を（地域のみんなで）考えましょう！

これまでの取り組みとしては、初瀬区自主防災組織の会での防災アドバイザーによる講話をかわきりに、町内12部落へお伺いしました。この中では、災害用伝言ダイヤル171の使い方、地域のハザードマップや要援護者についての考え方等の情報発信。拡大地図を利用して地域の危険箇所等をあらい出す図上訓練の実施があります。

今後も皆様からのご要望に答える形で、さまざまな提案をさせていただく予定です。興味・関心のある方は、社協職員へお声掛けください。また、座談会等の開催に向けて相談をさせていただくこともありますので、その際にはよろしくお願いいたします。

仲久保部落　地域福祉座談会の様子

宇和島市社協災害ボランティアセンター視察研修
高幡広域社協連絡協議会

9月2日・3日にかけて、高幡広域社協連絡協議会は宇和島市社会福祉協議会の協力のもと視察研修会を実施しました。本会では、今年度『災害』に着目し広域連携の強化と災害ボランティアセンターについて学び、マニュアルの見直し等に活かすことを目的に各市町6名計30名で参加しました。

研修では、西日本豪雨災害発災直後の初動、ボランティアセンター開設までの流れ、そして誰の為の何の為のボランティアセンターかということを学びました。宇和島市社会福祉協議会では発災時にマニュアルがあったことも速やかに行動できたことの一つですが、なんといっても心強かったことは、平時の取り組みが役に立ったと実践報告がありました。その取り組みとは、行政などとの合同視察、研修会の開催や災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施などが上げられていました。また、個別・地域支援については長期にわたり内容目的に応じての活動を実践したとのことでした。

この研修を通して、高幡広域社協同士の連携の強化に繋げていけそうなヒントをたくさん得ることができました。例えばボランティアの送り出し方法の一つ『エリアマッチング』は、梼原のように地域が離れている場合には有効だと思いました。

「被災された方が災害を甘くみていたのではないか。」という声もたくさん耳にするため、今後は災害への意識を高める取り組みを行っていきたいです。

YURURI ゆすはらでの防災

様々な災害に備えて YURURI ゆすはらでは、夜間想定も含めた防災訓練、また、浸水被害を想定した避難訓練にも取り組んでおります。また、施設ではご利用者の常備薬・保険証・お薬手帳などをまとめて保管し、下記のものを備蓄しています。

●非常持出袋

包帯・ガーゼ・サージカルテープ・洗浄液
アルコールジェル・軍手・ロープ・ランタン
手回し式充電ポケットラジオ
レスキューシート　ティッシュ
チョコえいようかん等

●排泄セット

紙パンツ・ゴミ袋・ゴム手袋

●水

●バスタオル

季節の変わり目には
ご家庭での備蓄品のチェックをしてみましょう

地域活動紹介

初瀬区

明野地地域（大野地部落＆影野地部落）

愛宕将軍地蔵大菩薩（通称：愛宕様）は、火を納める愛宕大権現

古くからこの地域で大切に祀られてきた愛宕様は、通称：愛宕山の頂上付近（車道から傾斜の急な山道を歩くこと約30分）に鎮座します。地域の方からは、「この愛宕様はこの辺り一帯を見下ろせる場所にいて、里の煙をみつけたら馬に乗ってかけつけた。」という言い伝えがあることをお聞きしました。孝山寺住職の話によると、この権現思想は修験道から生み出され、起源は大宝年間（西暦700年）のころ。この地域では平家の落人が祀ったもので、孝山寺開設の時代（約430年前）から信仰されているのではないだろうかとのことです。

しかし近年は高齢化のため参拝や維持管理が難しくなりました。このため9月24日、住職がお祓い・読経のあと塩で清め、集落の方が御本尊を背負って影野地の集落にお社をお移りいただきました。新しいお社は地域住民が協力し、地域の大工さんが約2ヶ月をかけて建造したものです。ここで地域の皆が住職の読経とともに念仏を唱えました。その後、明野地集会所にて直会の宴が開催され、地域住民が集い親睦を深めました。

※チビもご主人と一緒に山頂まで登ったよ ^_^

山頂の愛宕様、最後の読経

新しい愛宕様、初の読経

明野地集会所での直会

松本チビ

松原区

島中部落にあるお大師様

島中部落にあるお大師山では、旧暦の3月21日と7月21日の年2回にお大師様のお祭りを開催しています。今年は4月25日と8月21日に開催されました。中平部落を抜け八百とどろ橋たもとを右へ。そこから2キロ入り、分岐をさらに880メートルほど走るとお大師様があります。お大師山は島中の大串橋を渡っても行けます。松原部落と島中部落が毎年交代で事前の草刈り、清掃を行います。昔は水を担いで歩いて上がったそうですが、今では車で上がることができます。当日は美味しい料理と笑顔のお接待があり、参拝者をもてなしてくれました。地域の方の集う場となっていますが、この日は愛媛からエコ住宅利用の家族も来ていました。

守り継がれるお大師様

地域の方が協力して作った展望台もお大師山の魅力の一つです。松原中心部を一望することができる見晴らしの良い、とても気持ちの良い空間です。地域住民が力を合わせお大師様を守っています。

展望台からの眺め

ご存知ですか？ミニ八十八ヶ所

お大師山にはミニ八十八ヶ所巡りがあり、ぐるりと拝んで30分程度でまわることができます。
看板は今年地域の方が色を塗り、松原の郵便局長に字を書いていただいたそうです。
興味のある方はぜひご参拝下さい。

デイサービスゆるりだより

7月8月のお誕生日会

デイサービスゆるりでは
7月8月のお誕生日会を行いました。
梼原も暑かったため、暑さを吹き飛ばそうと
かき氷を作ってもらって皆さんで涼みました。

「何年ぶりに食べたやろうか。」
「わしは食べたことがないぞ。」
かき氷を手にいろんな会話が飛び交って、
涼しく夏を締めくくれました。

9月の創作レクリエーションは ハロウィンの飾りと月見の飾り作成

毎月季節ごとに飾りを作り、その動作を通して
指先の細かい動きの運動を行ってもらっています。
「月はえいからはよう団子を持ってこい。」と
食欲の秋らしい会話で盛り上がりました。

ケアハウスゆるりだより

お誕生日会

ケアハウスゆるり自慢の“いい男”達が１人ずつ、1輪のバラを持ってお誕生日のお祝いです。他の入居者様も大盛り上がり！「長く生きてみるもんやね。」との声も…。

ほっと一息

10/8 に敬老会を行いしました。体を使ったゲームを行い、皆さん、楽しみながらの真剣勝負です。

輝く梼原人！み～つけたっ◎◎！

梼原で頑張っている人たちを紹介するコーナーです。梼原に住む皆さん１人ひとりにスポットを当てて行きます！

in 越知面区

様々なイベントに引っ張りだこの林くん。そこで演歌歌手になるという夢と小さい時から応援してくれた地域の方への感謝の思いを語っていて、もっと深く聞いてみたいと思い、お話を伺いました。

▲ 町内外のイベントに参加

林（はやし）　裕輝（ひろき） さん（１７）

高知市で生まれ、３歳から梼原町田野々で暮らし始めた。現在、梼原高校３年生。来年、演歌歌手になる夢を追って上京する。

楽しいことばかりじゃなく挫折もあった

演歌や歌うことの楽しさを教えてくれたひいおばあさんが亡くなる前に「自分のひ孫に演歌歌手になってもらいたい」と言った言葉が記憶にあります。高校に進学し、野球をするか演歌の道に行くかすごく迷った時に、ひいおばあさんの夢をどうにか叶えたいと思い演歌の道を選びました。本格的に歌い始めたのは高校からで、皆に「上手いね」と言われて調子に乗っている時期もありました。でも、皆に好評だった訳ではなく、時にはバッシングを受けることもありました。憧れの三山ひろしさんの歌声に似ていると言われ嬉しく思っていたが、師匠に「第２の三山ひろしはいらないよ、林節で皆さんに愛されないといけないよ、君は林裕輝として売っていかないといけないんだよ」と言われ、諦めかけていた自分もいたけれど、師匠のおかげで自分は変われました。僕がいま考えている林節は、たくさんの人を救えるような歌手になることだと思っています。小さい時から知っている現在９６歳のおばあちゃんから「林くんの歌声を聴いたらほんとに長生きできる」と言ってもらいました。もし自分が生きがいになっていて、それが長生きの秘訣だとしたら嬉しいです。

梼原の日替わりばあちゃん

僕がこうして歌を歌える、聴いてもらえるのはたくさんの方々が支えてくださったからこそ今の自分があるので、皆さんには感謝の思いしかありません。地域の皆さんはダメなことや良いことをズバッと言ってくれます。何も思っていなかったらそんなこと言ってくれないと思います。地域の皆さんに育ててもらっているなと感じています。地域でおばちゃんと歩いていると、「おばあちゃんですか？」と聞かれた時に、「そうなんですよ」と言ってくれる方もいて、梼原ならではの愛情を感じます。時にはそんな事がプレッシャーにもなるけれど何年かかったとしても歌手になって地元に恩返しがしたいと思っています。

支えてくれたHIRO'Sのみんな

現在、同級生が手伝うよと言ってくれて、HIRO'Sというグループ名で活動しています。名前の由来は、皆がヒーローという意味と自分の名前のヒロからきています。同級生と協力しステージが成功できた時はすごく嬉しいです。最初は５人で活動していたが現在は部活を引退した友達も協力してくれています。来年３月８日にゆすはら座で「感謝の思い」と題してお別れコンサートをHIRO'Sと一緒に計画中で、演歌歌手の林裕輝と言って帰って来られるように決意を伝えたいです。このコンサートでHIRO'Sは解散するので、みんなと一緒に最高のステージにしたいと思っています。みなさんぜひ来てください！お待ちしています！

上京が決定した時の大会

幼馴染とツーショット！

HIRO' S 当初メンバー★

笑顔つながれ!! 輪ッハッハ

～町内各種団体紹介リレー～

地域で活動されている様々な団体の皆さんを紹介させていただき、活動の輪（和）を絆のリレーでつないでいくコーナーです！

前回の梼原町婦人会　会長　山口　眞知子さんにご紹介いただき、
今回は　**梼原町身体障害者連盟　会長　宮本友和さん**　に社協職員（前田）がインタビューしました。

＊　＊　＊

現在、マッサージ・鍼灸師のお仕事のかたわらで会長職に就かれている宮本さんですが、これらの経験が様々な立場の方と関わるきっかけになり、傾聴や共感、気遣いなどを学ぶ事につながっていると教えていただきました。

前田　身体障害者連盟（以下、身障連）のことを教えてください！

宮本　身障連は、身体障害をお持ちの方、その家族、以上に当てはまらない方でも団体の趣旨に賛同する方なら誰でも入会できます。地域の住民の皆さんと親睦をはかりながら、会員のみんなが楽しく他の障害者団体やボランティア団体の皆さんと交流することを目的に活動しています。

前田　身障連に関わることになったきっかけをお伺いします。

宮本　前会長の久岡亀一さんに声をかけてもらった事がきっかけでした。それまでは梼原町の身障連にも入っていなかったし、声をかけてもらうまでは、そこまで身障連に思い入れがあったわけではなかったです。

前田　身障連の活動の魅力についてお聞きします。

宮本　さっき話した身障連の目的にもありますが、老人クラブなどの色んな団体や人と交流する中で、相手を気遣ったり、助け合ったりできるので、『人間は、一人で生きていくわけではない』ということを活動を通して実感できるのが魅力じゃないかなと個人的に思っています。

前田　取り組みを続けていく上での目標や思いを教えてください。

宮本　今、高齢化や障害の進行で障害が重度化したりして会員数が減少していますし、今いる会員の皆さんもだんだん外出が難しくなってきています。そういった事情もあって、一人でも多くの方が参加できるようなイベントを、ボランティア団体や老人クラブ、三笑会などの団体と協力しながら企画してくことが目標です。

前田　これだけは伝えたいことなどお話していただければお願いします。

宮本　身体障害者、精神障害者、知的障害者のみなさんが今よりもっといっぱい関わりあえる機会が増えればなという想いがあります。それぞれが関わりあう機会が増えれば、活動の幅なんかもぐっと広がるだろうと思います。

前田　最後にひとことお願いします。

宮本　障害者の方も健常者の方もともに楽しく明るく過ごせる地域社会を目指したいと思っています。
それと私は、スポーツを通して自分が成長できた実感があるので、このスポーツに親しんできた経験を生かして、一人でも障害者の方にスポーツの楽しさを知ってもらい、スポーツから得られる学びを体験してもらえたらいいなと考えています。

前田　ありがとうございました！

次回は　**梼原町魚族保護会　会長　影浦　賢さん**
を紹介していただきました。お楽しみに！

掲　示　板

ゆすはら雲の上の図書館
Yusuhara Community Library

秋まつり ゆるゆる ゆすはら
yururi yusuhara

2019年
11/17日
11：00～17：00

ゆすまいる９月号でお知らせした秋まつりの内容をお知らせします。

フード

炊き出し訓練の一環ですので無料です。
ぜひ食べに来てください ♥

- カレー
- わた菓子
- D'aPan屋
- よりくんど
- シルク
- チムジルバン
- 東区集落活動センター

※出店の販売時間は 15：00 までとなっておりますのでお気をつけください。

イベント

- ●ししまる太鼓演奏
- ●林ひろき歌謡コンサート
- ●ジャグリング演技
- ●チームゆすはらよさこい演舞
- ●安藤桃子さんトークショー
- ●ゆるりバザー（売上金は赤い羽根共同募金に寄付させて頂きます。）
- ●図書館・ゆるり合同クイズラリー（クイズに答えて景品をゲットしよう！）

皆さんお誘いあわせのうえ、ご来場ください。お待ちしております。

その他図書館内では
古本譲渡会や絵本の
読み聞かせもあるよ

まごころ弁当 ボランティア募集！

「まごころ弁当事業」とは

赤い羽根共同募金の助成金を活用し、実施されています。
実行委員は、区長会長及び各長推薦者と協力団体代表のボランティアで構成されています。

【 ボランティア内容 】

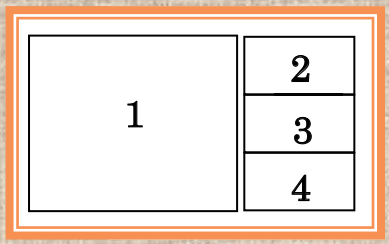
- ■ 町内の満 80 歳以上の在宅高齢者へ手作り弁当を配食
- ■ 配食時に地域の高齢者とふれあい・交流

【実施日時】

■１２月８日（日）

学校、地域にて回覧で周知し、料理・配食のボランティアを募りますので、ご覧ください。

＊＊ 今月号の表紙の写真 ＊＊



① 年がいくほど運動会は燃えるぞぉ！(明神義典さん・志手功さん)
② ボッチャで優勝！越知面 NO.1 ガールズ☆☆
(竹倉政恵さん、川上幸子さん、橋詰春恵さん)
③ まるかじり大会で丸かじる準備は OK!!
④ くるくるショップ繁盛しますように～産業祭にて～

発行元：社会福祉法人　梼原町社会福祉協議会　住所：高知県高岡郡梼原町川西路 2321－1
発行責任者：樋口 益也　電話：0889－65－1235　ホームページ：https://www.yusuhara-shakyo.jp/